

令和3年度 ふくい理数グランプリ（高校部門）グランプリ本選実施要項

1 目的

- (1) 授業で学習したことをベースに、実生活に関連した課題に取り組むことによって、数学・理科や科学技術に対する興味や関心を喚起するとともに、科学的な思考力・判断力・表現力等を育成し、理数的能力の向上を図る。
- (2) 課題に取り組みながら、科学の面白さや考える楽しさを感じる場とし、国際科学オリンピック大会やその国内予選大会などへの参加の契機とする。

2 主催 福井県教育委員会

3 共催 福井県高等学校教育研究会数学部会  
福井県高等学校教育研究会理科部会

4 日時 令和3年12月11日（土）14：00～16：00 前日準備  
令和3年12月12日（日）10：00～15：00 本選当日

5 会場 藤島高等学校

数学グランプリ	新嶺会館1階 オアシス、3階 プラタナスホール
物理グランプリ	3号館2階 物理実験室
化学グランプリ	3号館3階 第2化学実験室、理科講義室1
生物グランプリ	3号館1階 生物実験室、3号館3階 多目的室
地学グランプリ	3号館3階 第1化学実験室
(開・閉会式・表彰式)	各グランプリ会場
引率等控え室	CAI教室
来賓控室・事務局	3号館3階 理科講義室1（3号館1F）

6 グランプリ本選の参加者数（予定）

部 門	人 数
数学グランプリ	18人（6チーム）
物理グランプリ	18人（6チーム）
化学グランプリ	18人（6チーム）
生物グランプリ	18人（6チーム）
地学グランプリ	21人（7チーム）
合 計	93人（31チーム）

7 実施内容

(1) 数学グランプリ 高校部門

グランプリ本選では、実生活・実社会と関連する内容を題材に、課題を正しく理解する読解力、課題を解決する過程における創造力や直感性、論理的思考力を高める問題を出題する。原則として3人1組のチームで問題に取り組み、チームワーク、考察・発表の論理性、プレゼンテーションの能力等を総合的に評価する。

(2) 物理グランプリ、化学グランプリ、生物グランプリ、地学グランプリ

原則として3人1組でチームをつくり、実生活・実社会と関連する内容を題材に、観察・実験を行う問題に取り組む。観察・実験のチームワーク、結果の整理と考察、発表の論理性、プレゼンテーションの能力等を総合的に評価する。

## 8 日 程

### 数学グランプリ

時 間	内 容
9:20～10:00	<u>受付</u>
10:00～11:30	<u>本選</u>
11:30～12:30	<u>昼食・休憩</u>
12:30～13:00	<u>発表準備</u>
13:00～13:40	<u>発表</u>
13:40～14:10	<u>休憩</u>
14:10～15:00	<u>講評・表彰式</u>
	解散

### 物理・化学・生物・地学グランプリ

時 間	内 容
<u>9:40～10:00</u>	<u>受付</u>
<u>10:00～11:40</u>	<u>実験・観察</u>
<u>11:40～12:30</u>	<u>昼食・休憩</u>
<u>12:30～13:00</u>	<u>発表準備</u>
<u>13:00～14:00</u>	<u>発表</u>
<u>14:00～14:30</u>	<u>休憩</u>
<u>14:30～15:00</u>	<u>講評・表彰式</u>
	解散

※ 10:00～15:00 の時間配分については、変わる場合がある。

※ 講評・表彰は各部門会場で分散して実施しますが、最優秀賞受賞者は解散後に、取材対応のために事務局へ集合することとする。

## 9 表 彰

最優秀賞、優秀賞、奨励賞を設け、賞状、メダルを贈る。

数学グランプリ 個人および団体を表彰する。

科学の甲子園全国大会代表校にはカップを授与する。